

### エントランス広場ゾーン（北西）

- ・大阪城公園方面からスムーズに入園しやすい広々とした空間とする。
- ・交流広場ゾーンへの視線誘導、期待感、見え隠れ効果のある配置計画を行う。
- ・アイストップの樹木、阪神高速の遮蔽等、景観に配慮した植栽を行う。

### 緑化ゾーン

- ・大阪城公園と南部ブロックの緑を連続性を感じるよう緑化ゾーンを配置する。
- ・西ブロックとの景観調和や楽しみある“四季の彩り”を考慮して樹種を選定する。
- ・エントランスを視点場としたアイストップや阪神高速の遮へい等、機能的に樹木を配植する。



下枝を透かした樹木



遮へい樹木

### 交流広場ゾーン

- ・便所、売店、休憩、情報発信が可能な利便性の高い複合施設を設置する。
- ・周辺施設の情報サービスを提供する拠点施設とする。
- ・憩いの広場ゾーン側の景観と馴染む憩いの空間とする。



### 駐車場ゾーン

- ・利用者の利便性の向上を図るため、常設の駐車場を整備する。
- ・出入口は上町筋から進入する。
- ・景観に配慮して、緩衝帯を配置する。



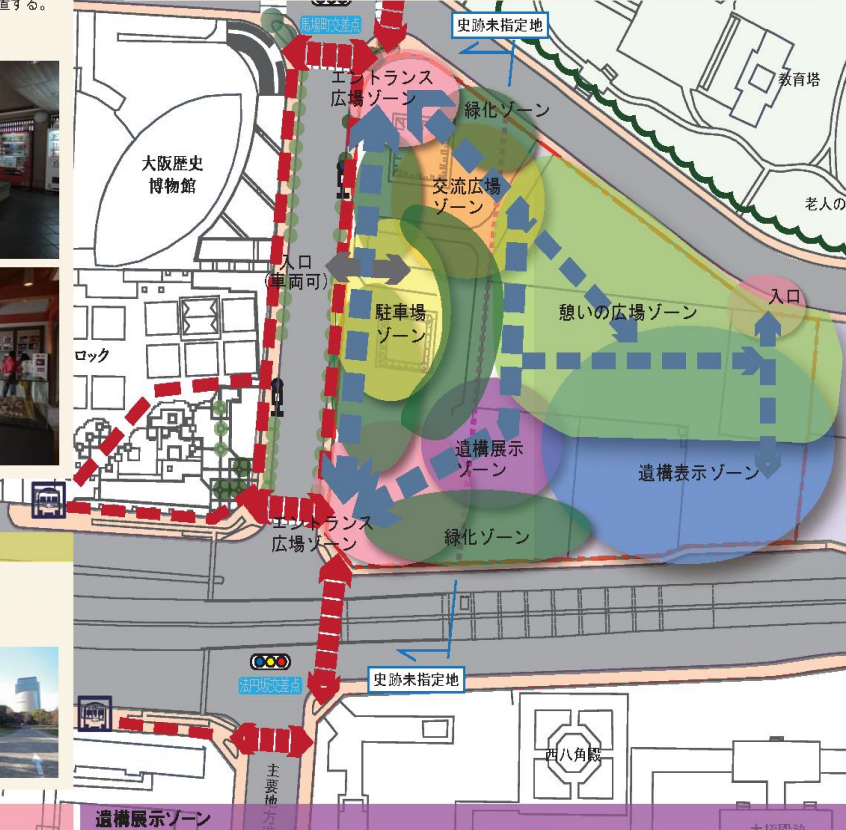
### エントランス広場ゾーン（南西）

- ・南部および西部ブロックとのスムーズにつながる空間とする。
- ・遺構展示ゾーンへの視線誘導、期待感、見え隠れ効果のある配置計画とする。
- ・大阪城天守閣を主対象とする良好な視点場を活かす。
- ・既に整備された西ブロックとの景観調和を図る。



### 遺構展示ゾーン

- ・瓦堆積箇所は露出展示を行い、来園者に本物を伝える整備を行う。
- ・ガイダンス機能や休憩機能を導入した屋根付き建物を併設し、難波宮跡の屋外情報発信拠点とする。
- ・エントランス（南西）からアイキャッチとなる建物で、園内への誘導を促進する。



### 憩いの広場ゾーン

- ・内裏正殿付近は、特別感を感じる高密度管理芝生エリアとして整備
- ・中軸線を園路として整備し、遺構解説板等を設置
- ・本町通り側は、憩いと学びのエリア



### 遺構表示ゾーン

- ・内裏正殿は北部ブロックを見せせ、南部ブロックの大極殿を認識できる位置に設定する。ただし、バリアフリーに配慮する。
- ・遺構内容を伝える解説板を立体サインとして整備する。サインは大型とし、眺望も楽しめるシンボリックな施設として整備する。
- ・景観阻害となる道路を緑化して遮蔽し、快適な視点場づくりを行う。



### 動線計画

- ・大阪城公園と南部ブロックをつなぐ動線を上町筋沿いに整備する。
- ・交流や遺構見学、情報収集ができるブロック内のメイン動線を整備する。
- ・既存の入り口を活かした整備を行う。



## 【参考資料2】 難波宮跡公園 北部ブロックゾーニング図